

平成22年3月期 第3四半期決算短信(非連結)

平成22年2月10日

上場会社名 株式会社 ワンダーテーブル
 コード番号 9174 URL <http://www.wondertable.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日
 配当支払開始予定日 —

上場取引所 東

(氏名) 林 祥隆
 (氏名) 小石 哲郎

TEL 03-3351-1151

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第3四半期の業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	7,810	△8.4	8	△54.8	△39	—	13	0.0
21年3月期第3四半期	8,526	—	18	—	△7	—	△75	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	0.31	—
21年3月期第3四半期	△1.79	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	11,302	6,750	59.7	160.95
21年3月期	10,992	6,732	61.2	160.51

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 6,750百万円 21年3月期 6,732百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	—	—	0.00	0.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	10,200	△9.2	60	9.3	0	—	40	—	0.95

(注) 業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4.その他をご覧ください。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	42,000,000株	21年3月期	42,000,000株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	56,810株	21年3月期	54,760株
③ 期中平均株式数(四半期累計期間)	22年3月期第3四半期	41,944,255株	21年3月期第3四半期	41,945,980株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の予想は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでいます。実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

上記予想の前提条件その関連する事項については、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

・ 定性的情報・財務諸表等

1. 経営成績に関する定性的情報

当第3四半期累計期間(平成21年4月1日～平成21年12月31日)におけるわが国経済は、輸出や生産など一部が持ち直したものの、企業収益は引き続き減少し、景気は依然として厳しい状況となりました。景気の先行き不透明感が強まるなか、外食産業におきましても、消費者の節約志向や、外食手控えなどにより需要は減少し、特に、当社の主力業態が属するディナーレストラン業態、パブ・居酒屋業態の売上高は、前年同期比約8%の減少となりました。

このような厳しい経営環境のもと、当社は「お客様にリピートして頂ける」店舗づくりを目標とし、現場力(店舗オペレーション力)強化施策、ブランド力強化施策を引き続き推し進めましたが、売上高は7,810百万円と前年同期比716百万円減少しました。利益面においては、売上高減少に伴い売上総利益が減少し、営業利益は8百万円と前年同期比10百万円の減益となり、経常損失は39百万円と、前年同期比31百万円の減益となりました。

事業部門別の業績は、次のとおりです。

① 飲食事業部門

飲食事業部門の売上高は、モーパラ・鍋ぞう業態、イタリアン業態での減収影響が大きく、7,376百万円と前年同期比564百万円減少しましたが、新店開店の抑制等により販売管理費が減少し、営業利益は336百万円と前年同期比20百万円の増益となりました。なお、当第3四半期会計期間末の飲食店舗数は70店舗となりました。

② その他事業部門

ビジネスホテルは円高、新型インフルエンザの影響による海外旅行客の減少などにより前年同期比15.0%の減収となり、また、ビリヤード場を事業譲渡したことによる減収と合わせ、その他事業部門の売上高は417百万円と前年同期比149百万円の減収となりました。営業利益は199百万円と前年同期比52百万円の減益となりました。

当社は平成21年11月26日、機動的かつ柔軟な抜本的経営改善策を可能にするため、当社の親会社である株式会社ヒューマックスの完全子会社、株式会社クレディックスによる当社株式の公開買付けに賛同しました。その結果、公開買付けは成立し公開買付者は当社の主要株主となりました。今後は当社の株式は東京証券取引所の上場廃止基準に従い所定の手続きを経て上場廃止となる見込みです。

2. 財政状態に関する定性的情報

(1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期会計期間末における総資産は11,302百万円となり、前事業年度末と比較して309百万円増加しました。これは店舗閉店に伴う有形固定資産の除却および差入保証金の返還などがあった一方、積極的に資金調達を行ったことによるものです。

当第3四半期会計期間末における負債合計は4,551百万円となり、前事業年度末と比較して291百万円増加しました。これは買掛金および長期借入金が増加したことなどによるものです。

当第3四半期会計期間末における純資産合計は6,750百万円となり、前事業年度末と比較して17百万円増加しました。これは当期の業績により利益剰余金が増加したことなどによるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期会計期間末の現金及び現金同等物は、前事業年度末と比較して673百万円増加して1,261百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは265百万円の収入となりました。これは減価償却費が350百万円と税引前四半期純利益31百万円を計上し、ビリヤード場の事業譲渡益101百万円を投資活動によるキャッシュ・フローに振替えたことなどによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フローは87百万円の収入となりました。これは差入保証金の返還による収入178百万円、およびビリヤード場の事業譲渡による収入101百万円を計上したことなどによるものです。

財務活動によるキャッシュ・フローは234百万円の収入となりました。これは借入による収入1,139百万円と借入金の返済による支出947百万円を計上したことなどによるものです。

3. 業績予想に関する定性的情報

平成21年10月9日に公表した業績予想に変更はありません。

4. その他

(1) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(固定資産の減価償却費の算定方法)

定率法を採用している資産については事業年度にかかる減価償却費の額を期間按分して算定していません。

(法人税等並びに繰延税金資産及び繰延税金負債の算定方法)

繰延税金資産の回収可能性の判断に関して、前事業年度末以降に経営環境等、または、一時差異等の発生状況に著しい変化がないと認められるので、前事業年度において使用した将来の業績予測やタックスプランニングを利用しています。

(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積もり、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しています。なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しています。

(2) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期財務諸表】
 (1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,261,387	673,928
売掛金	413,744	347,224
その他	170,374	179,178
流動資産合計	1,845,506	1,200,331
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	2,309,256	2,450,827
土地	4,983,304	4,980,465
その他(純額)	382,456	466,523
有形固定資産合計	7,675,017	7,897,815
無形固定資産		
	131,827	101,332
投資その他の資産		
投資有価証券	186,960	178,336
差入保証金	1,361,684	1,508,300
その他	106,199	106,694
貸倒引当金	△4,850	—
投資その他の資産合計	1,649,995	1,793,329
固定資産合計	9,456,839	9,792,477
資産合計	11,302,345	10,992,807
負債の部		
流動負債		
買掛金	520,171	442,509
短期借入金	119,000	100,500
1年内返済予定の長期借入金	917,720	812,784
未払費用	454,646	441,270
その他	220,623	257,753
流動負債合計	2,232,161	2,054,815
固定負債		
長期借入金	1,878,645	1,810,669
長期未払金	214,268	177,214
その他	226,573	217,332
固定負債合計	2,319,486	2,205,216
負債合計	4,551,648	4,260,031

(単位:千円)

	当第3四半期会計期間末 (平成21年12月31日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成21年3月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,280,000	4,280,000
資本剰余金	2,069,534	2,069,534
利益剰余金	346,169	333,169
自己株式	△7,692	△7,497
株主資本合計	6,688,012	6,675,206
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	62,685	57,570
評価・換算差額等合計	62,685	57,570
純資産合計	6,750,697	6,732,776
負債純資産合計	11,302,345	10,992,807

(2) 【四半期損益計算書】
【第3四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	8,526,700	7,810,408
売上原価	2,188,624	1,986,237
売上総利益	6,338,075	5,824,170
販売費及び一般管理費	6,319,626	5,815,825
営業利益	18,449	8,345
営業外収益		
受取配当金	9,644	5,120
その他	9,213	6,924
営業外収益合計	18,857	12,045
営業外費用		
支払利息	41,881	53,137
その他	2,613	6,342
営業外費用合計	44,494	59,479
経常損失(△)	△7,187	△39,088
特別利益		
事業譲渡益	—	101,482
投資有価証券売却益	444	—
特別利益合計	444	101,482
特別損失		
店舗閉鎖損失	40,791	30,475
固定資産除却損	3,654	159
その他	2,761	172
特別損失合計	47,206	30,807
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△53,949	31,586
法人税等	21,104	18,585
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△75,053	13,000

【第3四半期会計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期会計期間 (自 平成20年10月1日 至 平成20年12月31日)	当第3四半期会計期間 (自 平成21年10月1日 至 平成21年12月31日)
売上高	3,141,602	2,862,018
売上原価	825,542	731,466
売上総利益	2,316,059	2,130,552
販売費及び一般管理費	2,259,277	1,948,621
営業利益	56,782	181,931
営業外収益		
受取配当金	4,100	799
その他	3,333	2,035
営業外収益合計	7,434	2,834
営業外費用		
支払利息	15,846	18,273
その他	2,308	670
営業外費用合計	18,154	18,944
経常利益	46,061	165,821
特別損失		
店舗閉鎖損失	7,022	985
固定資産除却損	1,240	—
その他	2,279	172
特別損失合計	10,541	1,158
税引前四半期純利益	35,520	164,663
法人税等	8,978	7,747
四半期純利益	26,542	156,915

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 (△)	△53,949	31,586
減価償却費	339,189	350,396
長期前払費用償却額	1,215	1,774
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,240	△367
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△24,212	2,732
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	—	4,850
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△56,927	△49,585
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△10,000	—
受取利息及び受取配当金	△10,349	△5,237
支払利息	41,881	53,137
為替差損益 (△は益)	△352	302
投資有価証券売却損益 (△は益)	△444	—
有形固定資産除却損	27,189	18,259
事業譲渡損益 (△は益)	—	△101,482
売上債権の増減額 (△は増加)	△92,516	△66,520
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△37,004	2,751
その他の資産の増減額 (△は増加)	7,412	9,619
仕入債務の増減額 (△は減少)	126,036	77,663
未払債務の増減額 (△は減少)	167,385	△6,658
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△42,564	9,066
その他の負債の増減額 (△は減少)	△422	2,653
小計	384,806	334,944
利息及び配当金の受取額	10,349	4,934
利息の支払額	△43,195	△52,938
法人税等の支払額	△234,540	△21,850
営業活動によるキャッシュ・フロー	117,420	265,089
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△687,764	△149,122
有形固定資産の売却による収入	—	12,706
無形固定資産の取得による支出	△52,758	△24,920
無形固定資産の売却による収入	—	96
長期貸付金の回収による収入	—	120
投資有価証券の売却による収入	1,227	—
差入保証金の差入による支出	△178,928	△32,253
差入保証金の回収による収入	77,487	178,868
長期前払費用の取得による支出	△5,360	—
預り保証金の返還による支出	△39,747	△600
預り保証金の受入による収入	39,436	1,000
事業譲渡による収入	—	101,482
投資活動によるキャッシュ・フロー	△846,407	87,378

(単位:千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	—	△7,425
短期借入れによる収入	635,000	289,000
短期借入金の返済による支出	△533,800	△270,500
長期借入れによる収入	1,500,000	850,000
長期借入金の返済による支出	△569,138	△677,088
長期未払金の返済による支出	△2,740	△43,591
セールアンド割賦バック取引による収入	—	94,940
自己株式の取得による支出	△80	△194
配当金の支払額	△125,335	△149
財務活動によるキャッシュ・フロー	903,907	234,990
現金及び現金同等物に係る換算差額	352	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	175,273	587,458
現金及び現金同等物の期首残高	675,906	673,928
現金及び現金同等物の四半期末残高	851,178	1,261,387

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

6. その他の情報

該当事項はありません。